

平成 23 年 9 月 20 日

第 6 回（通算 37 回）誠愛院内勉強会

日時：平成 23 年 9 月 20 日 17:30～

場所：新棟研修室

テーマ：「褥瘡治療のポイント とっても簡単！ 褥瘡 キズ 治療」

褥瘡対策委員会：医局 鍵山 智子

褥瘡対策委員会より、当院褥瘡発生状況の報告と、日常でも活用できる創傷治療のポイントを提示いたします。

NST 委員会より（管理部栄養係 豊田 晃）

『抄録』

栄養管理法で経口摂取が困難な場合、経腸栄養が経静脈栄養に比べて生理的であり合併症も少ないことから、腸が機能している場合には経腸栄養を行うのが原則である。しかし現在、各メーカーから市販されている 100 種類以上の経腸栄養剤をどのような基準で考え、目の前の患者に最も適したものを選択していくかは、栄養管理を行う上で重要なポイントとなる。特に近年、経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG）の普及に伴い、慢性期における長期経腸栄養法施行症例が著しく増加している。また、肝不全用、腎不全用、COPD などの呼吸不全用をはじめ、特殊な病態に用いる経腸栄養剤も多種類市販されていることから、栄養管理を行っていく中でこれら経腸栄養剤のそれぞれの特長について、医療スタッフは周知しておく必要がある。今回は、経腸栄養剤について分類から選択基準、病態別栄養剤の特長まで詳しく説明を行う。

また、栄養強化食品については、経管から経口へ移行する際や食事量が不安定な方、栄養状態が低下した方などに用いているが、当院で採用している栄養強化食品の特長や使い方などについて説明する。

【テーマ】

1. 経腸栄養剤の分類
2. 経腸栄養剤の選択基準
3. 病態別栄養剤
4. 当院で使用している経腸栄養剤
5. 当院で使用している栄養強化食品
6. まとめ

以上